

■米国：NRC 職員が上司のもみ消し行為を内部告発

2012 年 5 月 9 日付の報道によれば、米国原子力規制委員会（NRC）地域事務所職員からとされる内部告發文書が NRC へ送られた。内容は、NRC 地域事務所職員が安全上の懸念を提起したところ、上司が厳しく非難して威圧し、さらにその懸念を他の上司に話すことを禁じたとしている。安全上の懸念とは、2011 年 6 月、停止中のフォート・カルフーン発電所（ネブラスカ州）で起きた電気ブレーカーの火災に関するものである。NRC はトラブル事象を、程度の軽い方から順に、緑、白、黄、赤の 4 つに分類しているが、この火災は最も程度の重い“赤”と最終的に判断された。上司は、自分の受け持ち区域で“赤”の事象が発生すれば、困難な政治的環境に陥ることを恐れ、もみ消しの行為を行ったのではないかとされている。告發文書は民主党議員にも送られており、議員は NRC ヤツコ委員長に独立調査を行うよう求めている。